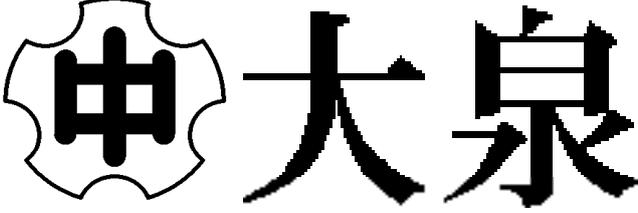


|   |         |  |
|---|---------|--|
|  | 「人は学ぶ」  | 7月号<br>平成30年7月13日<br>発行者 惣田 修一<br>編集 菊池 知裕 |
|   | 「人は変わる」 |  |
|   | 「人は輝く」  |  |

## 乳しぼり体験

校長 惣田 修一

6月の中旬、10組（特別支援学級）生徒とともに軽井沢移動教室に行ってきました。梅雨の最中で天候に恵まれず、念願の登山は中止しましたが、サファリパークやカーリング体験、中村中学校や南が丘中学校との交流レクや花火大会など、バラエティーに富んだ3泊4日となりました。

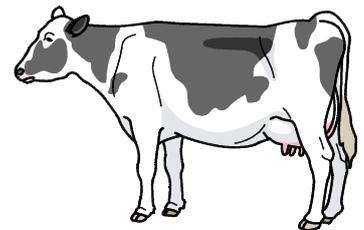
10組の移動教室は、通常学級と違って全学年の生徒と一緒に寝食をともにします。そのため3年生から1年生まで、学年を越えて全員が仲良しです。先生達も生徒と一緒に部屋で過ごし寝ます。先生と生徒、生徒と生徒、ゆったりとした時間が流れる中、仲間をととても身近に感じることができる4日間です。

3日目、ベルデ軽井沢からは少し離れますが、自然に囲まれた鷹山ファミリー牧場というところに行きました。農業体験を終えた後、時間があつたので乳しぼり体験をしました。その時、飼育係の方から次のようなお話をいただきました。

「牛のお乳からは、いつでも牛乳がしぼれるわけではありません。子どもが生まれる前後、お乳に牛乳がたまってしぼれるようになるのです。そもそもお乳が出るのは、子どもがそれをすって成長するためです。でも、牛の子どもは生まれてすぐに別の場所に移します。あまりいい言い方ではないかもしれませんが、子どものためにたくわえられるお乳を私たち人間が横取りしていることとなります。」

今まで何となく分かっていたことだったのですが、『人が子牛のお乳を横取りしている』という話を聞いた瞬間、なんだか心が痛くなるのを感じました。10組の生徒の顔つきも真剣でした。さらに飼育係の話は続きます。

「さて、このお母さん牛から、1日にどのくらいの牛乳がしぼれると思いますか？ はい、そうなんです。250位しぼれるんです。年間ですと約1万リットル、牛乳パック1万本ということになります。できるだけ年間を通じてしぼれるように、年に1回の割合で出産するように計画しています。そうすると、お母さん牛にどうしても負担がかかってしまい長生きできなくなってしまうのです。みてください。



ここにすでにしぼったコップ1杯の牛乳があります。昼食時に皆さんに飲んでもらいますが、いろんな意味で感謝して飲んで欲しいと思います。それでは、先頭の生徒から順番にやってみましょう。」

次々と乳しぼり体験をする生徒からは、自分の手にお母さん牛の温かみが伝わってきたようで、「温かい、、、。」という言葉が発する姿があり、それがとても印象的でした。

過日の朝礼で給食の話をしました。「給食は昨日まで生きていた。私たち人間が生き続けるためにいただいている大切な命、無駄にせず残さず食べよう」という内容です。

特に牛乳は、君たちが成長していく上で栄養価が高くほぼ毎日給食に出ます。当たり前のように提供される給食ですが、その陰にいろんな努力があります。その陰にいろんな犠牲があります。そのことがわかる人になって欲しい。

残念ながら、日本は1人あたりの食品廃棄量が世界一です。1人で年間152kgを捨てています。日本全体では1940万トン、損失額は11兆円です。一方で、世界中から食品を輸入する消費大国です。時間があるときに調べてみてください。

夏休みが近くなってきました。学年によって目標は違うと思いますが、勉強、部活、行事、手伝い、様々な体験、どの場面でも自分の心に誇れる夏休みを送ってください。

## 頑張る!! 大泉中生 ～部活動の記録～

|                 |  |
|-----------------|--|
| サッカー部           | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度 第56回 練馬区中学校生徒総合体育大会 第5位<br/>第3ブロック大会出場</li> </ul>  |
| 剣道部 (男女)        | <ul style="list-style-type: none"> <li>東京都中学校体育連盟剣道部第3ブロック大会において<br/>第57回東京都中学校総合体育大会剣道大会、東京都中学校剣道選手権大会<br/>出場権獲得</li> </ul>   |
| ソフトボール部         | <ul style="list-style-type: none"> <li>第3ブロック夏季ソフトボール大会 準優勝 都大会出場決定</li> </ul>   |
| 陸上競技部           | <ul style="list-style-type: none"> <li>第69回東京都中学校地域別陸上競技大会<br/>男子西部3年 100m 第5位 鈴木希海<br/>男子西部低学年 4×100m<br/>第5位 吉岡稜平・小田遼太郎・石澤翔梨・秋本響</li> <li>第32回東京リレーカーニバル<br/>男子中学共通110mH 第3位 鈴木希海<br/>男子中学共通100m 第3位 鈴木希海<br/>女子中学共通110mH 第2位 益子芽里<br/>女子中学共通100m 第8位 山里ささら<br/>男子中学3年100m 第5位 吉川凌央<br/>男子中学共通4×100mリレー 4位 サムリン・シェイレンコア、<br/>白旗浩太郎、鈴木希海、<br/>吉川凌央</li> <li>第57回東京都中学校総合体育大会<br/>共通女子100mH 第4位 益子芽里(記録14秒76) <b>全国大会出場決定</b></li> </ul> |
| 柔道部             | <ul style="list-style-type: none"> <li>第20回東京都中学校第3ブロック柔道大会<br/>男子50kg級 第1位 桑原和俊<br/>男子55kg級 第1位 桑原雅俊</li> <li>平成30年度 第56回 練馬区中学校生徒総合体育大会<br/>男子50kg級 第1位 桑原和俊 第2位 桑原雅俊</li> <li>平成30年度 第36回 東京都中学校柔道体重別選手権大会<br/>男子個人50kg級 第3位 桑原和俊</li> </ul>  |
| 女子バスケット<br>ボール部 | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度 第56回 練馬区中学校生徒総合体育大会 第3位<br/>都大会出場決定</li> </ul>   |
| バドミントン部         | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度 第56回 練馬区中学校生徒総合体育大会<br/>男子団体 優勝<br/>女子団体 第3位</li> </ul>  |

7月9日の生徒朝礼で、図書館支援員の治田さんが「言葉の魔法」というテーマでブックトークを実施してくださいました。そこで紹介された本を改めて紹介します。

村上しいこ「うたうとは ちいさないのち ひろいあげ」

アルバート・アインシュタイン「アインシュタイン ひらめきの言葉」

椎野直弥「僕は上手にしゃべれない」

マイケル・モーパッサン「だれにも話さなかった祖父のこと」

スザンナ・タマーロ「トビアと天使」

エラ・フランス・サンダース「翻訳できない世界の言葉」

この夏、読んでみてはいかがでしょうか。



## 6月9日(土) 卒業生のお話を聞く会

6月9日(土)、3年生では「卒業のお話を聞く会」が行われました。

大泉中を卒業した現在高校3年生の5名の卒業生をお迎えして、事前に実施したアンケート調査をもとに、様々なお話をいただきました。

受験する高校選び、学校見学会のポイント、中学校と高校との違い、普通高校と専門学科の特徴……。それぞれが自分の実体験に基づいた貴重なお話ばかりで、3年生にとっては、各自のこれからの進路選択についてより身近なこととして感じることでできるよい機会となりました。

3年生は、いよいよ進路選択に本格的に取り組んでいく時期となってきます。目の前の一つ一つのことに最大限の努力を傾けて取り組んでいくという姿勢をもって、残された中学校生活をより充実させていってほしいと思います。



## 6月21日(木) セーフティ教室

6月21日(木)、1年生はセーフティ教室を実施しました。

石神井警察署生活安全課のスクールサポーターのほか、NTT DoCoMoから講師をお招きして、「携帯電話のトラブルや不審者への備え」という内容でご講演いただきました。

第2部の保護者対象の講演では、特に携帯電話(スマホ)利用に関してとても分かりやすく示唆に富んだお話をしていただき、たいへん実のある講演会となりました。



## 夏休みを前に再確認 !!

### — SNS東京ルール —

- 1 1日の利用時間と終了時刻を決めて使おう。
- 2 自宅でスマホを使わない日をつくろう
- 3 必ずフィルタリングを付けて利用しよう。
- 4 自分や他人の個人情報を載せないようにしよう。
- 5 送信前には、相手の気持ちを考え、読み返そう。

### — SNS大泉中ルール —

- 1 原則23時から朝5時までの間はSNSを利用しない。携帯電話やタブレット等の情報端末も利用しない。(特別な事情がある場合は各家庭で決める)
- 2 相手の気持ちを考えない内容や個人情報は書き込まない。(写真等も含む。)
- 3 SNS内の話を学校に持ち込む場合は、周りの人に気を配る。
- 4 困ったら保護者に相談する。
- 5 保護者に相談をしてフィルタリングを設定する。
- 6 ながらスマホをしない。

★各家庭でもルール作りをして、正しく使えるようにしよう!!

## 3年生 救急救命講習会



7月3日(火)・4日(水)の2日間、前半クラス、後半クラスに分かれて、3年生は救急救命講習会を実施しました。

学校とPTA、青少年育成大泉地区委員会が一体となって共催する行事です。

生徒たちは8～9人のグループで石神井消防署員の方々、消防団の方々の指導の下、心肺蘇生法について講習を受けながら、ダミー人形を使って実際に体験をすることで救命法を学びました。また、AED(自動体外式除細動器)の使用



方法についても学びました。

この講習会を終え3年生は、救命技能認定書という資格を得ることができました。



## ♪ 二胡演奏体験 ♪

7月9日(月)、10組では豊島区駒込にある「こたにじゅん二胡教室」の奏者4名にお越しいただき、二胡コンサート鑑賞と演奏体験を行いました。音楽の授業では、オリンピック・パラリンピック理解を深めるため世界の音楽についても学習しています。

今回は、二胡の音色を聴いたり、楽器を弾いたりする経験をすることで音楽に興味をもつ機会になればと考え計画しました。

皆さんは「二胡」と聞いてどのような楽器を思い浮かべるでしょうか。二胡は中国の伝統楽器で、弓の間に弦をはさんで音を出す弦楽器の仲間です。手を離しても弓が床に落ちないことや共鳴する小さな太鼓(琴胴)にニシキヘビの皮が張ってあるという楽器の説明を生徒たちはとても興味深く聞いていました。

二胡の演奏体験では、音が鳴らず苦戦する生徒もおりましたが、「ズンと響く音がした。」「手がジーンとした。」「深い音色に聞こえた。」などの感想が出され、実際に弾くことで音を出す難しさや楽しさに気づくことが出来ました。10組の生徒たちにとっては、CDや映像のほかに、このような体験をする中で様々な感じた気持ちを育てていくことが重要だと感じています。

当日は二胡の演奏に合わせて「涙そうそう」などの曲を歌う機会もあり、短い時間ではありましたが「見て、弾いて、感じる」ことが出来た貴重な時間となりました。

